

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年10月13日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明を申し上げます。

まず、1ページ目、2.の10月13日金曜日、本日の会合でございます。（1）の審査会合が現在開催されているということでございます。

議題でございますが、地震・津波等の対策についてということで、まず、日本原電株式会社につきましては、東海第二原子力発電所につきまして、地盤・斜面の安定性についてコメントへの回答を求め、議論を行うということでございます。

また、東北電力株式会社につきましては、東通原子力発電所につきまして、敷地内破砕帯の活動性評価につきまして、コメントへの回答を受け、議論を行うという予定となっております。

続きまして、10月17日火曜日、（2）の審査会合でございます。こちらは議題といたしまして、新規制基準適合性に係る審査ということで、対象は日本原電・東海第二原子力発電所に関する審査を予定しております。

内容といたしましては、大きく3つに分かれる予定でございまして、まず1点目といたしまして、竜巻・火災対策、また、耐震・津波設計につきまして、コメントへの回答を受け、議論を行う予定となっております。

続きまして、午後からの予定でございますが、2点目といたしまして、地震・津波対策の関係との合同会合という形で、防潮堤の構造について、コメントへの回答を受け、議論を行うという予定となっております。

その後、シビアアクシデント対策につきまして、技術的能力及びアクセスルートにつきまして、コメントへの回答を受け、議論という予定となっております。

続きまして、その下、（3）の会合でございます。第15回東海再処理施設等安全監視チームの会合の開催を予定しております。議題は大きく2点ございます。

まず、議題1「東海再処理施設の廃止に向けた活動の進捗状況について」ということでございまして、内容といたしましては、今回の会合ではガラス固化計画の件は議論を予定しておりません。それ以外の設備といたしまして、貯蔵場等に関する廃止に向けた対

応の進捗状況につき説明を聞き、議論という予定となっております。

続きまして、議題の2として「施設中長期計画に係る『廃棄物の処理・処分』の進捗状況について」というふうに挙げられております。こちらはJAEA全体の廃棄物の処理・処分、これをどのように計画的に進めていくかということについて、議論が行われる予定ということになっております。

2ページ目に参りまして、中段、10月20日金曜日の会合でございます。（7）第10回放射性同位元素使用施設等の規制に関する検討チームの開催が予定されております。

議題として2点挙げられております。まず、放射線障害防止法、この春の法改正で改正された改正法でございますが、その施行準備の状況につきまして議題の1で説明を行った上で、議題2におきまして、改正法第5条による放射線障害防止法の改正、これに伴って、下位法令に盛り込む基準等の概要案について議論を行うという予定でございます。前回の会合におきまして、改正法のうち、いわゆるセーフティの部分について議論を行いました。今回は改正法の第5条による第2段階施行部分ということで、セキュリティに関する部分につきまして、政令・規則等の下位法令の概要案について議論を行うという予定でございます。

続きまして、（8）第3回の規制に係る人的組織的要因に関する検討チームの開催が予定されております。議題は「安全文化に係るガイドについて」とされております。安全文化に係るガイドの要素ということで、前回、第2回の会合ではリーダーシップに関して議論が行われたところでございますが、今回の会合ではそのほかの要素、具体的には安全文化にかかわる活動の仕組み、あるいは活動の監視・測定、また、必要な力量といった点について議論を行うということをご予定してございます。

最後、3ページ目に参りまして、委員の現地視察についてお知らせをしております。

10月20日金曜日に関西電力・高浜発電所1・2号機の新規制基準適合性審査に係る現地調査を予定しております。石渡委員及び規制庁の職員が調査に行くという予定となっております。こちらはいわゆる特重施設に係ります適合性の審査に関する現地調査ということでございまして、敷地内の地質構造等についての確認を行うという予定になってございます。

私からは以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。スミさん。

○記者 共同通信のスミです。よろしくお願いいたします。

大きく2点。

1点は、先ほど東京電力の方からリリースがありましたけれども、福島第二原発の方に

昨今話題の神戸製鋼の子会社が納入した配管にデータ偽装したものがあったということですが、これに関して規制委員会としての受けとめと、当然、東電2Fにあったものはほかの原発にもあり得ると思うのですが、何か規制委員会として特に対応をとられるとかいうことがあれば、教えてください。

○大熊総務課長 では、まず、今の1点目とおっしゃった質問についてでございます。今、御指摘ありましたように、福島第二原子力発電所において、配管、熱交換器内の交換用のチューブというふうに聞いておりますけれども、それにつきまして、神戸製鋼メタルプロダクツ株式会社からのデータについて、不適合、測定されていない部分があったということで発表されたところでございます。私どもとしても当然報告を受けているところでございます。

この神戸製鋼におけるデータの不正という問題につきましては、今、関連する事業者において、神戸製鋼側、関連会社と連絡をとって実態の確認を進めているところというふうに承知をしております。

私ども原子力規制庁といたしましても、事業者に対しまして、そうした状況について連絡を取り、確認を行っているというところでございます。引き続き事業者において、問題のある部材の使用がないか確認を進めてもらい、また、規制庁としてそうした状況を確認していくということをしてまいりたいというふうに考えております。

○記者 確認ですが、今のところ、そういったものが出てきたのは、この東電の2Fだけということでしょうか。

○大熊総務課長 私どもがいろいろ確認をする中で、神戸製鋼関係の部材の使用という例は二、三、例えば、運送用の器具などであるということですが、それについて、不正は現時点では確認はされていないということでございます。引き続き確認を進めていきたいと思っております。

○記者 もう一点ですが、先日、規制委員会のホームページで面談記録等にも出ていたようですが、北海道電力の泊原発の関係で、防潮堤を新たに東海第二と同じような方式でかなり深くまで杭を打って作るというようなこと、一部報道でもありましたけれども、こういった報告を北海道電力さんから規制委員会として受けていらっしゃるようですが、ずっと審査会合はとまっておりますけれども、今後は、近々、審査会合を開いて、北海道電力の計画の妥当性なんかについて議論が始まるのでしょうか。

○大熊総務課長 まだ現時点で審査会合の予定というのは、確定したものは入ってきておりません。そうした事業者側での検討というものを踏まえて審査を進めていくということは今後検討していくことになるものというふうに理解しております。

○司会 ほか、御質問のある方はいらっしゃいますか。どうぞ。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしく願いいたします。

一昨日、沖縄で米軍のヘリコプターが炎上するという事故があったのですけれども、過去、墜落した米軍機に放射性物質が搭載されていたというケースがありまして、今回の事例でも、放射性物質の有無などについて何か情報を得ておられますでしょうか。あるいはまた、今後、何か確認をすとか、対応方針で決まっているところがあれば、お聞かせください。

○大熊総務課長 私どもとして現時点で放射性物質の有無といった御質問ですけれども、そうしたことについて、特に情報を得ているということは現時点ではございません。

○司会 御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。アベさん。

○記者 日経新聞のアベです。

来週火曜日にNRCの長官が表敬に来るということですのでけれども、今回、長官が来日している目的というのはどんなことなのかという情報が入っていれば、教えてください。

○大熊総務課長 いくつか現地を視察される予定だということは聞いておりまして、それにあわせて表敬訪問に来られるということだというふうに聞いております。

○記者 現地の視察というのはどこのことですか。

○大熊総務課長 詳細については、どこまで固まっているかということは、ちょっと今、手元に情報がございませんので、必要でしたら国際室などにちょっとお問い合わせをいただければと思います。

○記者 分かりました。

○司会 御質問のある方。オガワさん、どうぞ。

○記者 朝日新聞のオガワです。よろしくお願いします。

聞き漏らしたかもしれないのですが、19日の審査会合は、議題は具体的にはどんなことなんでしょうか。

○大熊総務課長 19日でございますね。これは前回あるいは前々回のブリーフィングでお話をしたということで、今回は御説明を、済みません、省略してしまっておりました。19日の審査会合。

○司会 まだ未定です。

○大熊総務課長 済みません。勘違いでした。失礼しました。これはまだ未定でございます。決まり次第、御説明させていただきたいと思っております。申し訳ございません。

○記者 先ほどの、もう一点、神戸製鋼の件なのですけれども、今後、事業者の確認をされていくということなのですが、その確認の方法というのは、例えばヒアリングであるとか、何かこれまでやられていることであるとか、今後やられるようなことはどんなことがあるか、もし分かれば教えていただけますか。

○大熊総務課長 これまでは現地の規制事務所から各原子力事業者に対して、本件に関するような部品の納入といった情報がないかということをお問い合わせして確認をしてい

るというのがこれまでの状況でございます。

○記者 今後、特には変わらないということですか。

○大熊総務課長 現時点ではその形で情報を集めているというところでございますけれども、その状況を注視していく中で、必要に応じて必要な対応を考えてとっていききたいということでございます。

○司会 御質問のある方。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—